

(3) 市民アンケートの実施概要

①調査対象

市内に居住する満20歳以上の市民の方を対象として、3,000人を無作為に抽出し、都市計画に係るアンケートを実施しました。

②配布方法

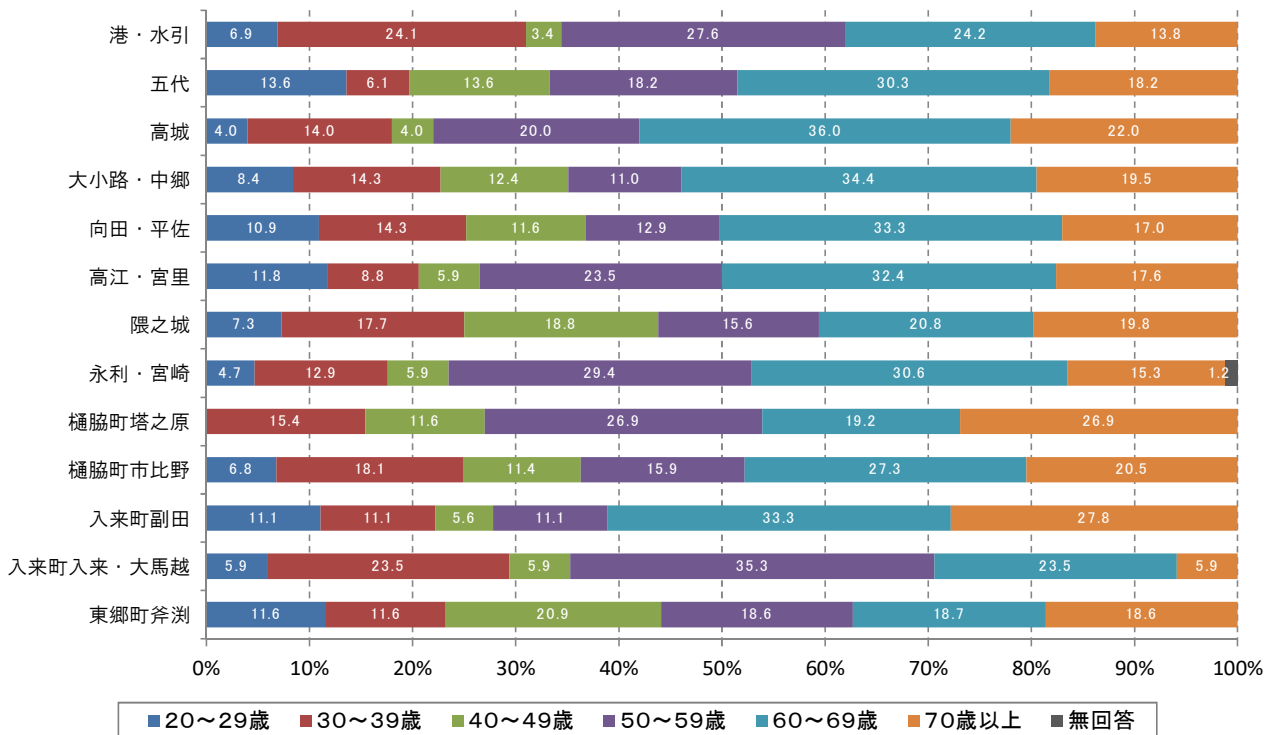
郵送配布・郵送回収

③調査日

平成26年8月実施

④回答数・回答率

配布数3,000人に対し、816人(27.2%)から回答を頂きました。



地域別 回答者の年齢構成

(4) 市民アンケート結果（地域の現状について）

①お住まいの地域の環境における、現在のまちの評価について

「緑の多さ」、「日当たり・風通しの良さ」、「海や川、山などの自然の豊かさ」、「水や空気のきれいさ」など、自然環境に関する現状の満足度は比較的高くなっています。

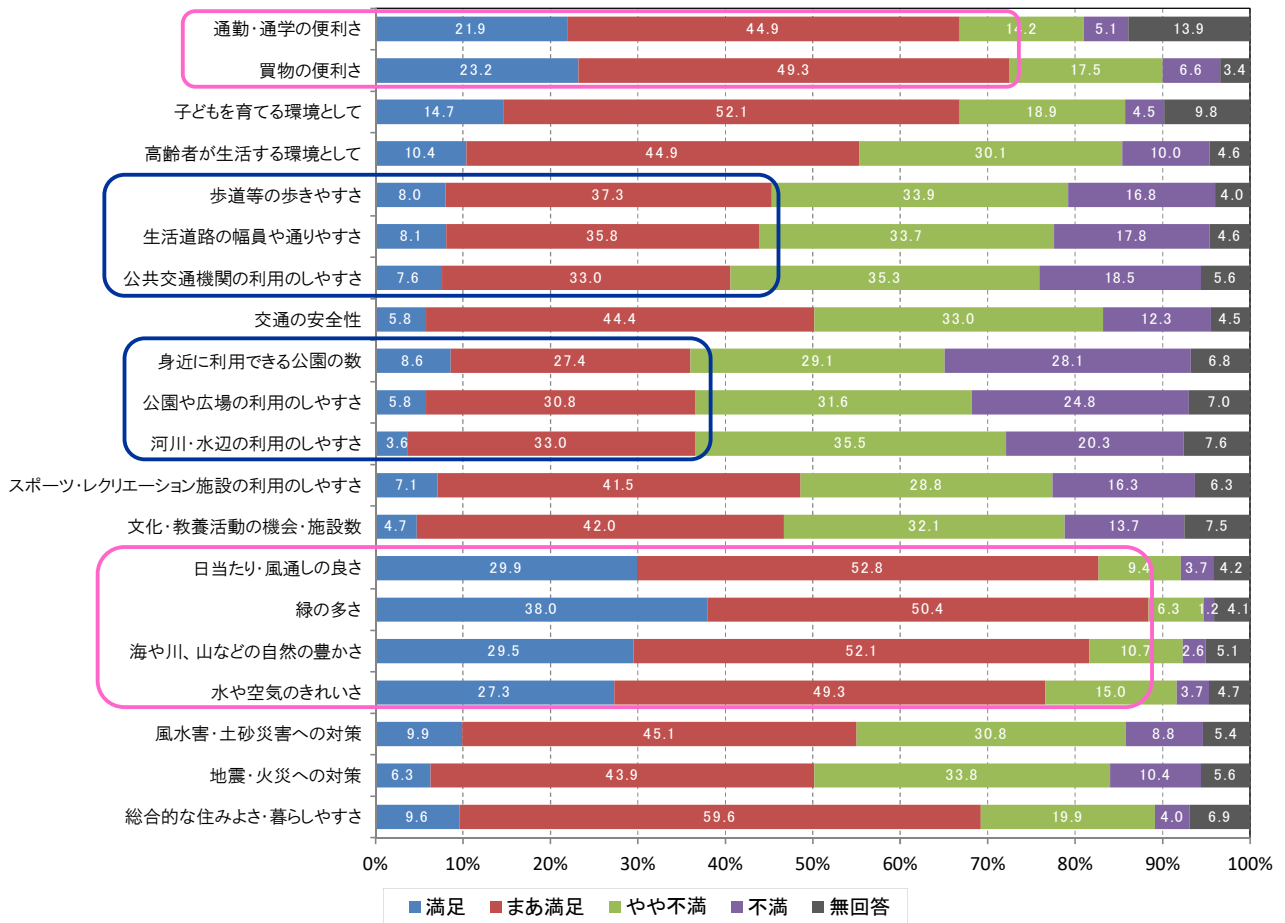
また、「買い物の便利さ」、「通勤・通学の便利さ」など、日常生活の利便性に対する満足度も比較的高い結果となっています。

「身近に利用できる公園の数」、「公園や広場の利用のしやすさ」、「河川・水辺の利用のしやすさ」など、公園等の数や利用のしやすさに対する満足度が低くなっています。

また、「公共交通機関の利用のしやすさ」、「生活道路の幅員や通りやすさ」、「歩道等の歩きやすさ」など、道路・交通環境に関する満足度が低い結果となっています。

問 9-①. 現在のまちの評価（％）

n=816



※ n：回答者数

※ MA：複数回答の総数

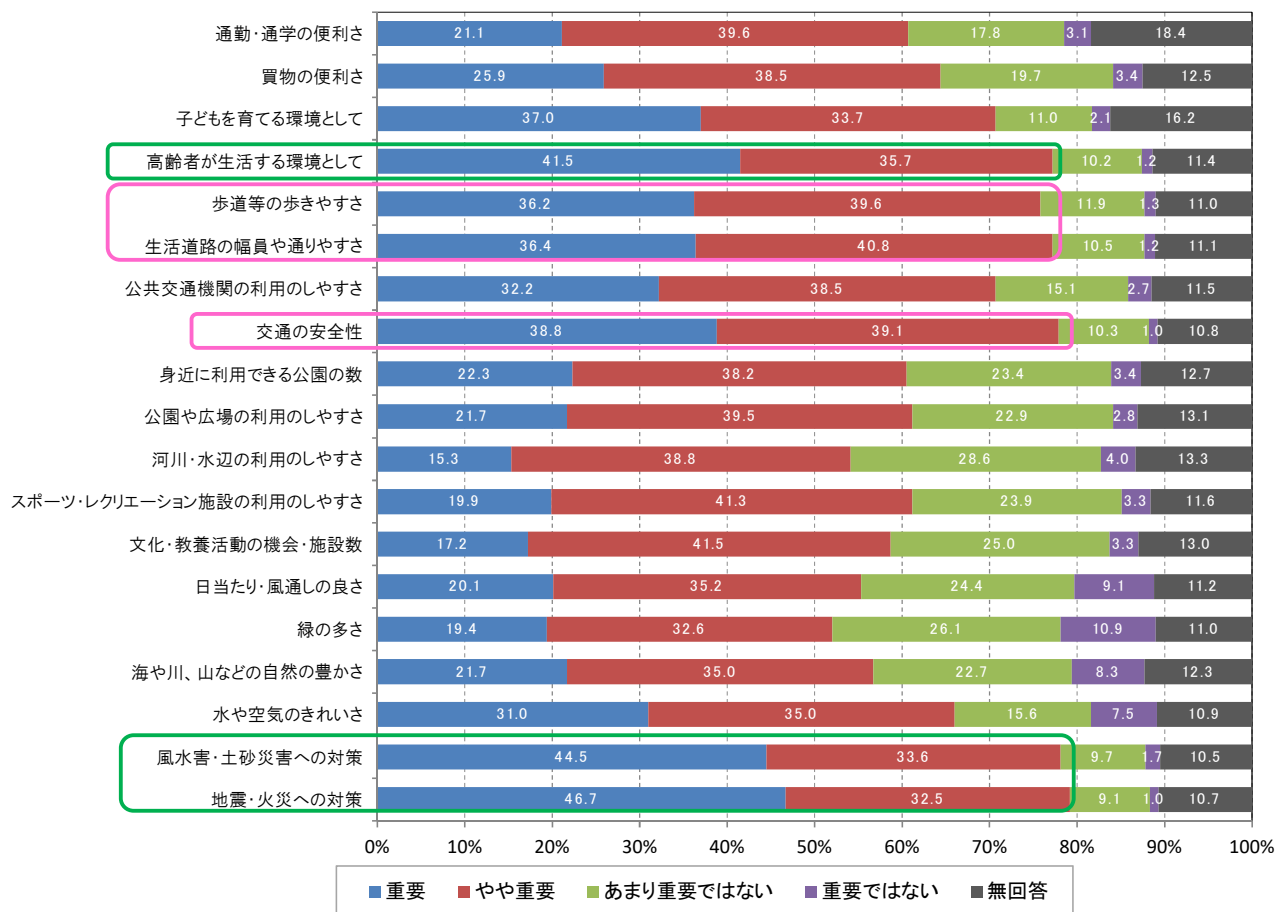
②お住まいの地域の環境における、今後の取組みの重要度について

「交通の安全性」、「生活道路の幅員や通りやすさ」、「歩道等の歩きやすさ」といった道路・交通環境に関する取組みについては、満足度があまり高いとは言えず重要度が高くなっています。

「地震・火災への対策」、「風水害・土砂災害への対策」といった防災関連や「高齢者が生活する環境として」といった高齢化対策関連については、満足度はそれほど低くはないものの、今後の取組みへの重要度が高いと判断されます。

問 9-②. 取組みの重要度 (%)

n=816



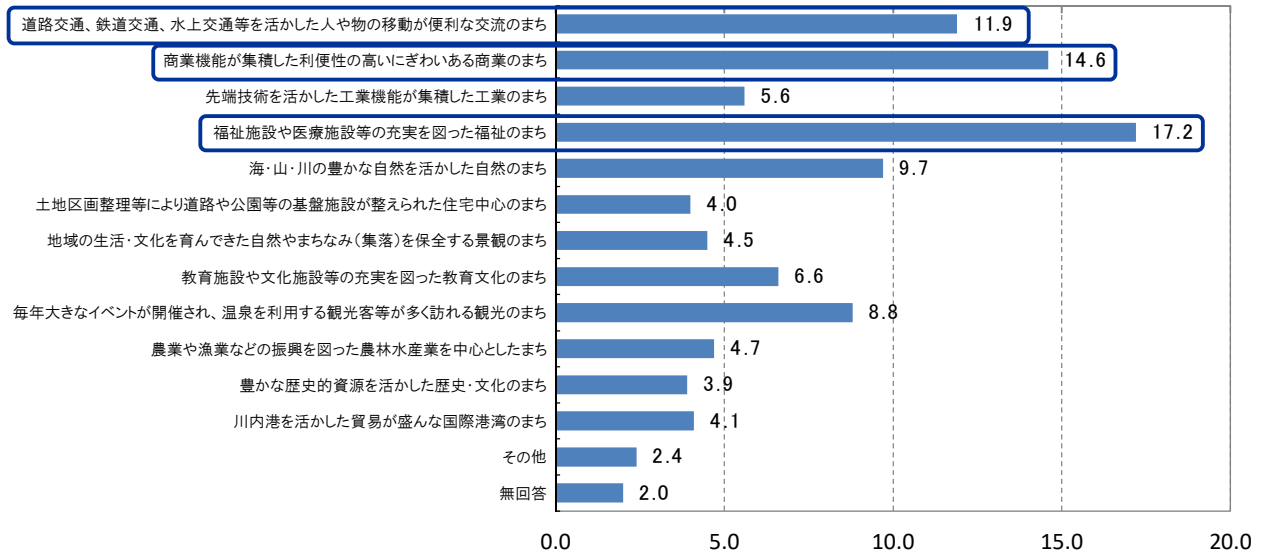
(5) 市民アンケート結果（今後のまちづくりの方向性について）

①市全体がどのように発展してほしいかについて

市全体においては、「福祉施設や医療施設等の充実を図った福祉のまち」、「商業機能が集積した利便性の高いにぎわいある商業のまち」、「道路交通、鉄道交通、水上交通等を活かした人や物の移動が便利な交流のまち」としての発展が求められています。

問10. 市全体の発展（％）

MA=2,259

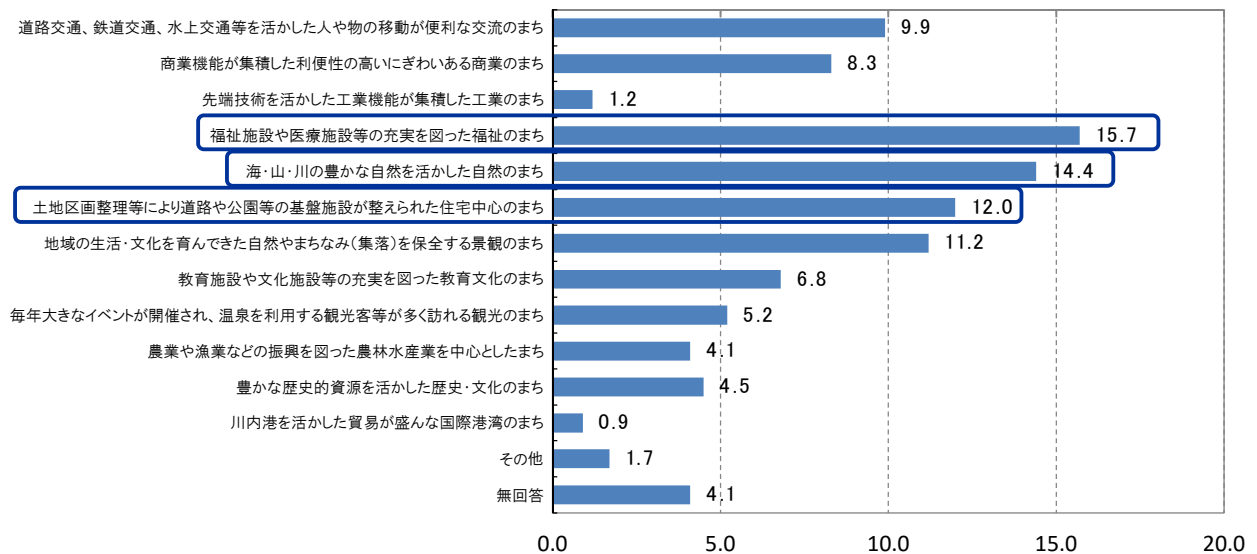


②住まわれている地域がどのように発展してほしいかについて

住まわれている地域においては、「福祉施設や医療施設等の充実を図った福祉のまち」、「海・山・川の豊かな自然を活かした自然のまち」、「土地区画整理等により道路や公園等の基盤施設が整えられた住宅中心のまち」としての発展が求められています。

問10. 居住地域の発展（％）

MA=2,047



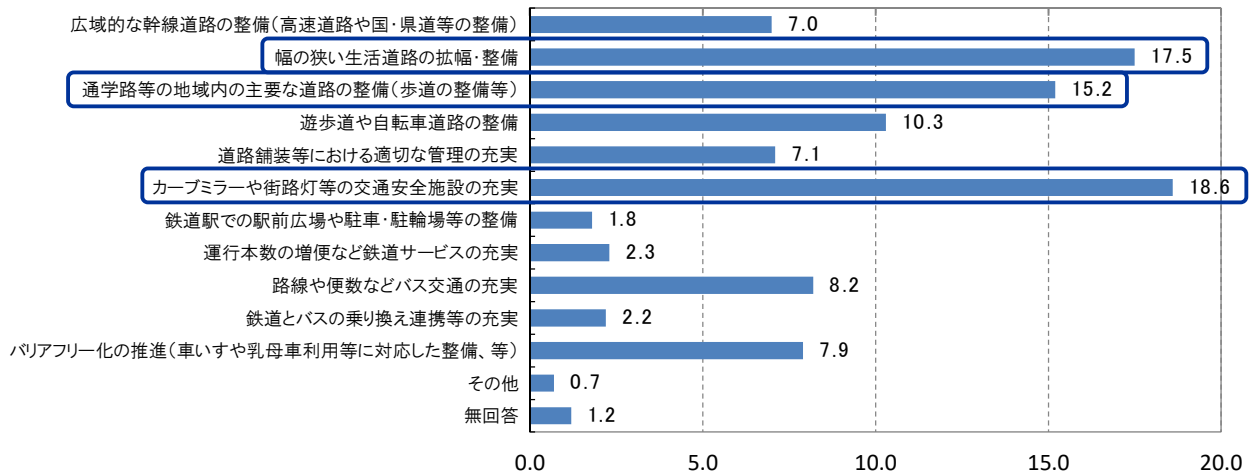
③道路・交通環境について今後どのような取組みに力をいれていく必要があるか

道路・交通環境については「カーブミラーや街路灯等の交通安全施設の充実」、「幅の狭い生活道路の拡幅・整備」、「通学路等の地域内の主要な道路の整備（歩道の整備等）」といった生活道路の安全性の向上に関する取組みが求められています。

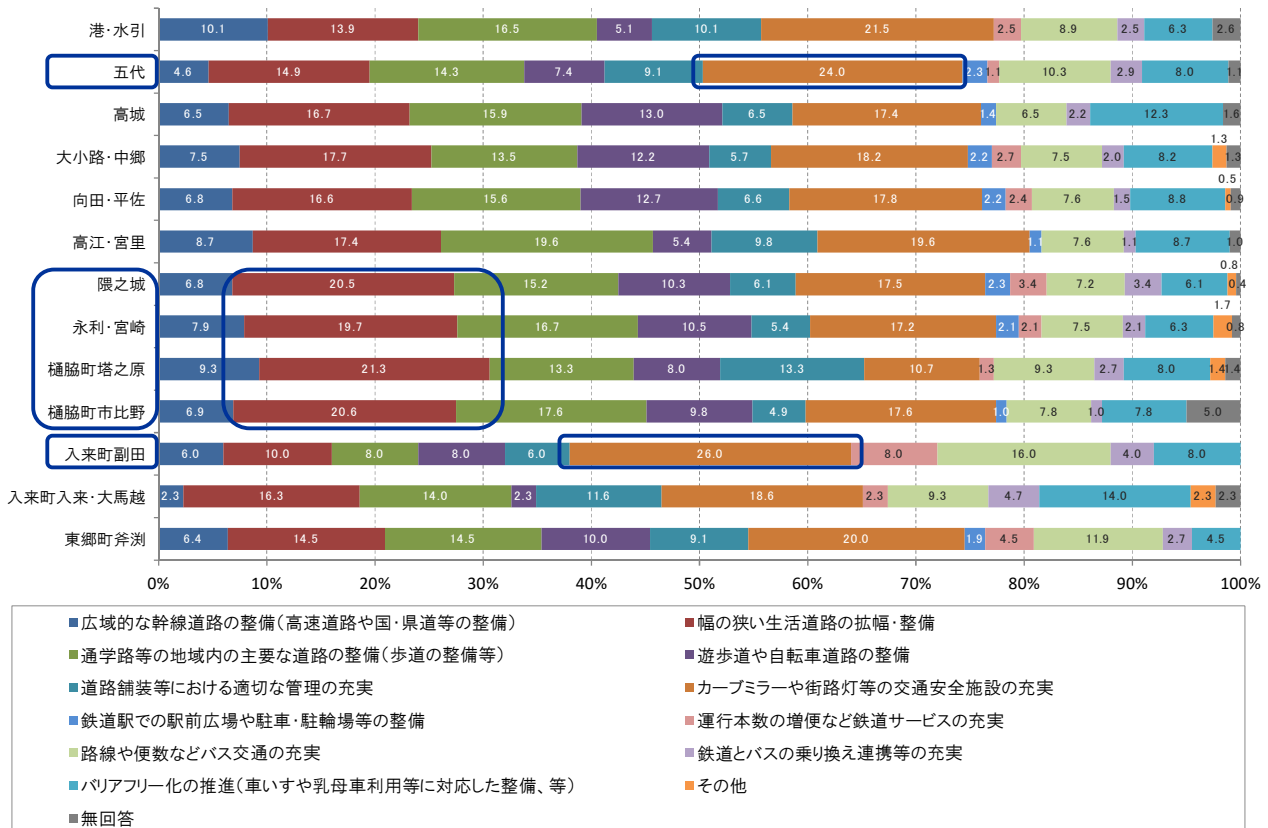
地域別に見ると五代、入来町副田では、特に「カーブミラーや街路灯等の交通安全施設の充実」を求める割合が高く、隈之城、永利・宮崎、樋脇町では、幅員 4m未満の道路が多い地域でもあるため、「幅の狭い生活道路の拡幅・整備」を求める割合が高くなっています。

問 11. 道路・交通環境の取組み (%)

MA=2,193



問 11 の居住地域別まとめ



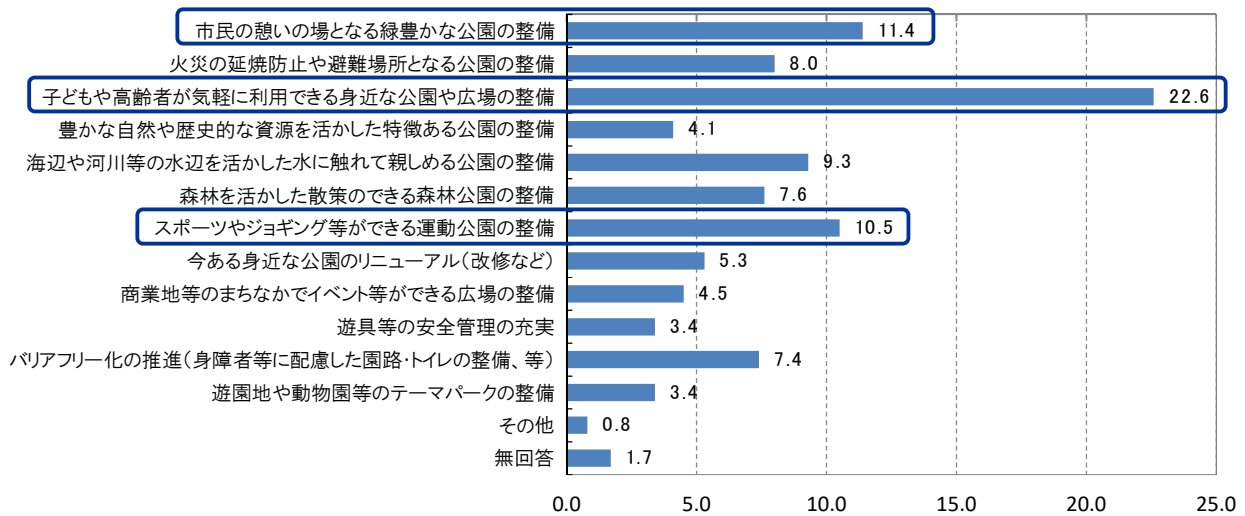
④公園・緑地について今後どのような取組みに力をいれていく必要があるか

公園・緑地については「子どもや高齢者が気軽に利用できる身近な公園や広場の整備」が最も求められています。次いで「市民の憩いの場となる緑豊かな公園の整備」、「スポーツやジョギング等ができる運動公園^{※42}の整備」と続き、日常で利用できる公園の整備が望まれています。

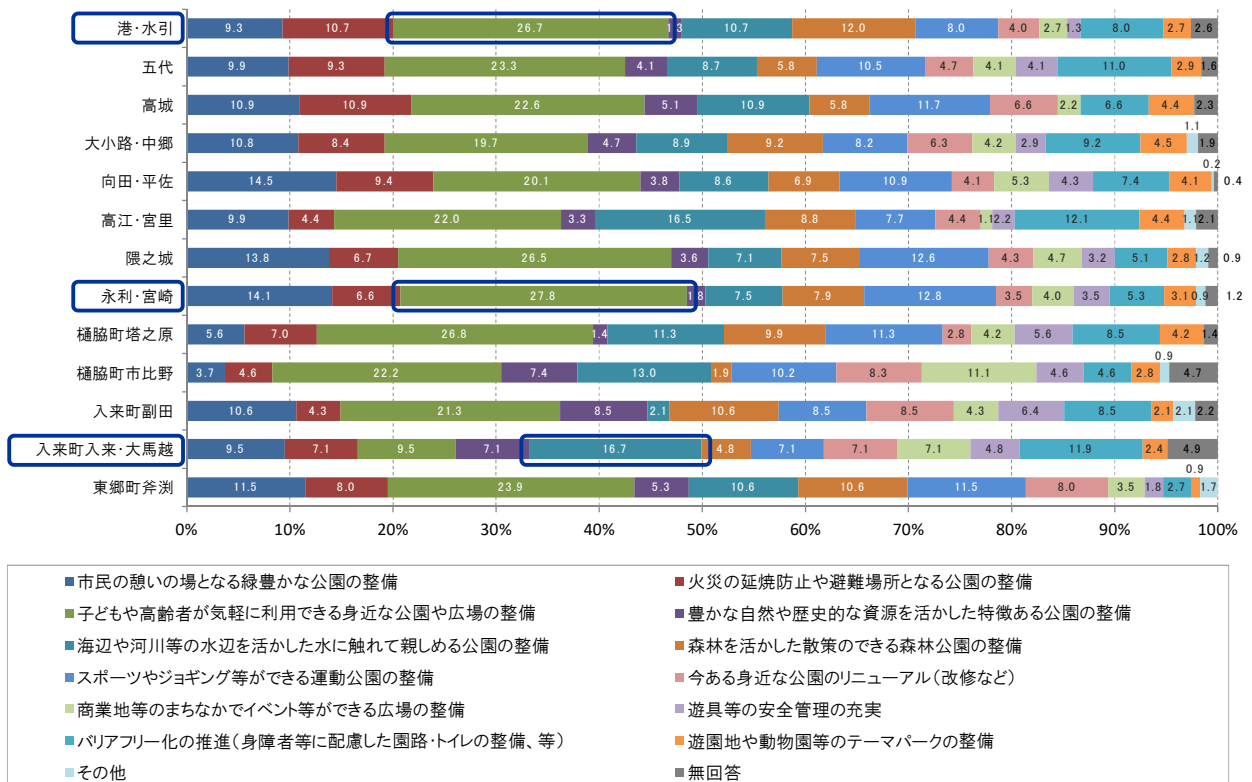
地域別に見ると、身近な公園が少ない港・水引や人口密度が比較的高く公園が偏って分布している永利・宮崎では「子どもや高齢者が気軽に利用できる身近な公園や広場の整備」を求める割合が高く、入来町入来・大馬越では「海辺や河川等の水辺を活かした水に触れて親しめる公園の整備」を求める割合が高い結果となっています。

問 12. 公園・緑地の取組み (%)

MA=2,123



問 12 の居住地域別まとめ



※42 (114 ページ)

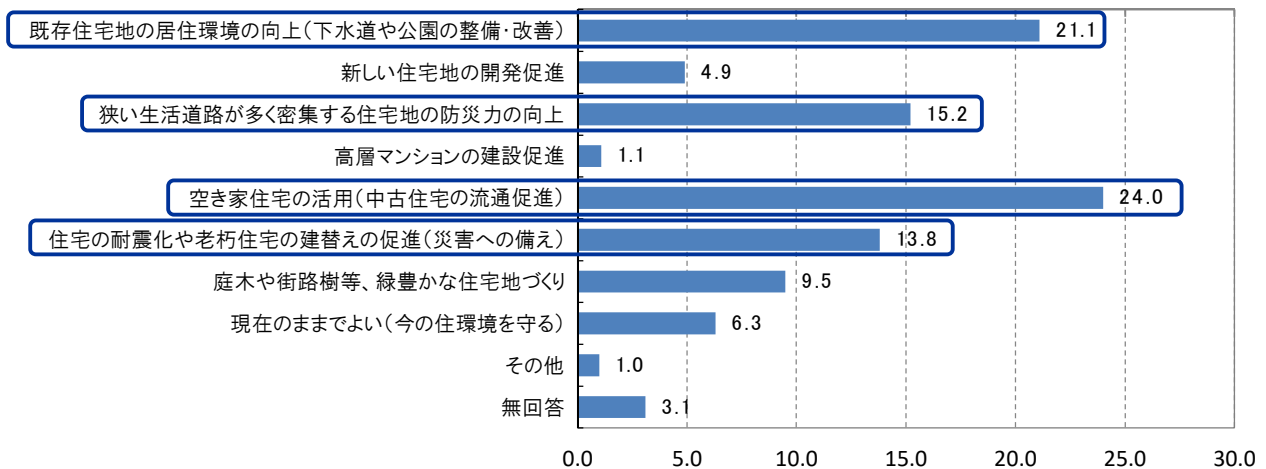
⑤住宅地について今後どのような取組みに力をいれていく必要があるか

住宅地については「空き家住宅の活用（中古住宅の流通促進）」、「既存住宅地の居住環境の向上（下水道や公園の整備・改善）」といった既存の住宅に対する要望が高くなっています。次いで「狭い生活道路が多く密集する住宅地の防災力の向上」、「住宅の耐震化や老朽住宅の建替えの促進（災害への備え）」など、防災対策に対する取組みが求められています。

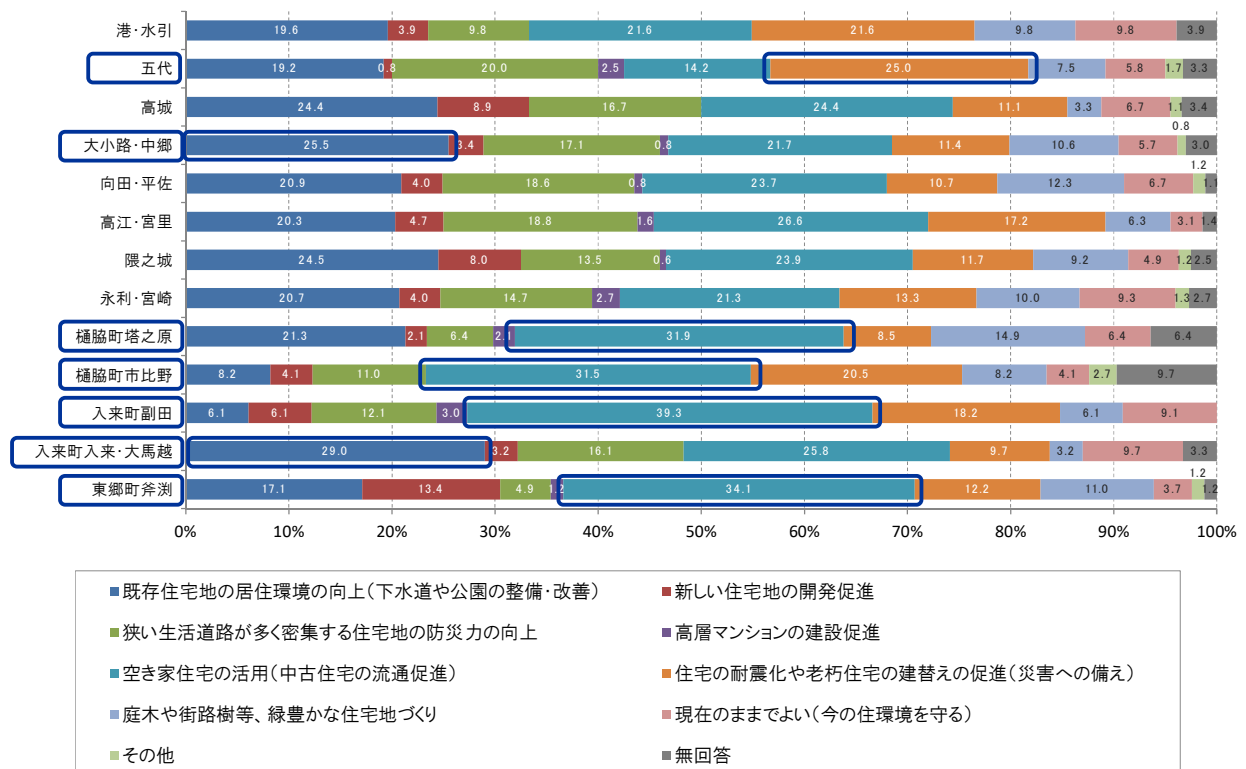
地域別に見ると、五代では「住宅の耐震化や老朽住宅の建替えの促進（災害への備え）」、樋脇町、入来町副田、東郷町斧淵では「空き家住宅の活用（中古住宅の流通促進）」、大小路・中郷、入来町入来・大馬越では「既存住宅地の居住環境の向上（下水道や公園の整備・改善）」を求める割合が高くなっています。

問 13. 住宅地の取組み（％）

MA=1,431



問 13 の居住地域別まとめ



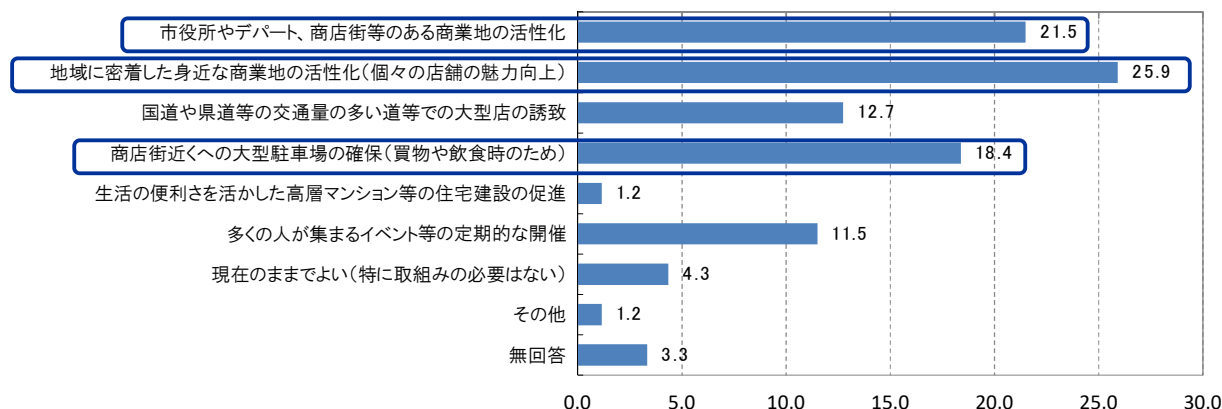
⑥商業地について今後どのような取組みに力をいれていく必要があるか

商業地については「地域に密着した身近な商業地の活性化（個々の店舗の魅力向上）」に対する要望が最も多く、次いで「市役所やデパート、商店街等のある商業地の活性化」、「商店街近くへの大型駐車場の確保（買物や飲食時のため）」といった、中心地における商業機能の充実が求められています。

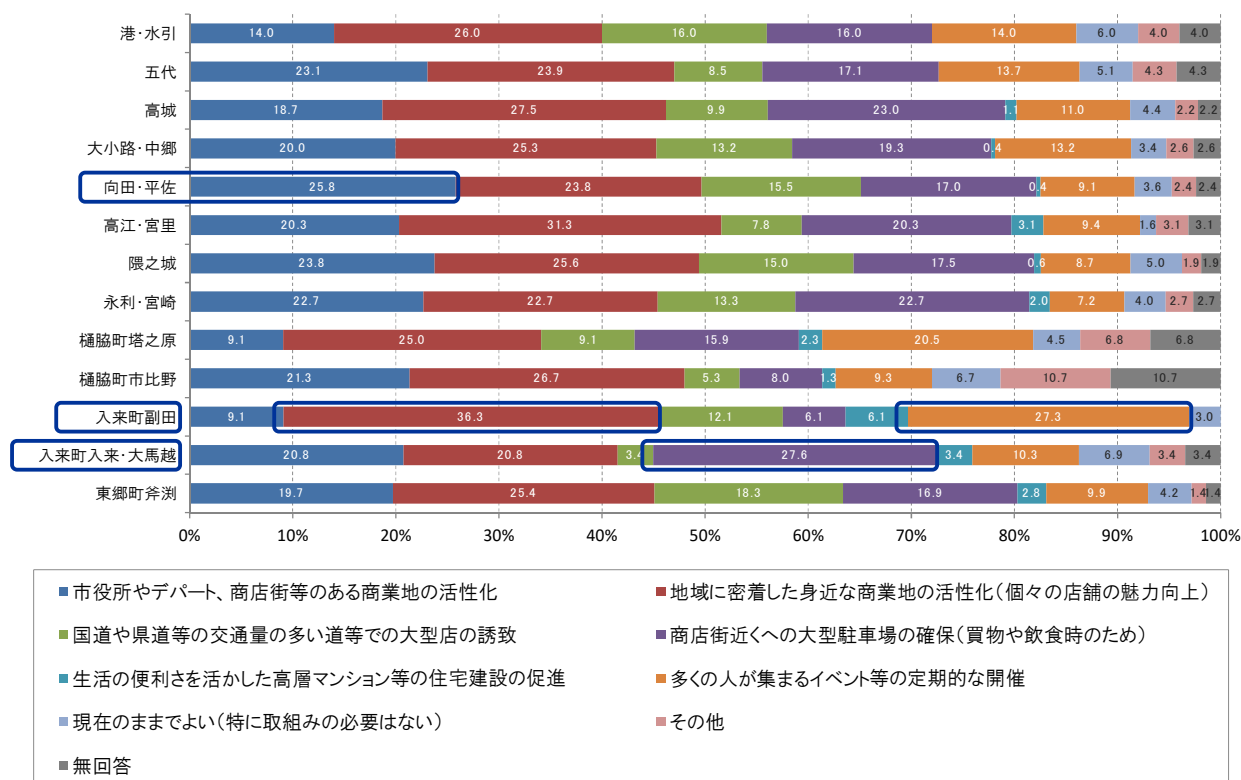
地域別に見ると、向田・平佐では「市役所やデパート、商店街等のある商業地の活性化」、入来町副田では「地域に密着した身近な商業地の活性化（個々の店舗の魅力向上）」の次に「多くの人が集まるイベント等の定期的な開催」、入来町入来・大馬越では「商店街近くへの大型駐車場の確保（買物や飲食時のため）」を求める割合が高くなっています。

問 14. 商業地の取組み（％）

MA=1,381



問 14 の居住地域別まとめ



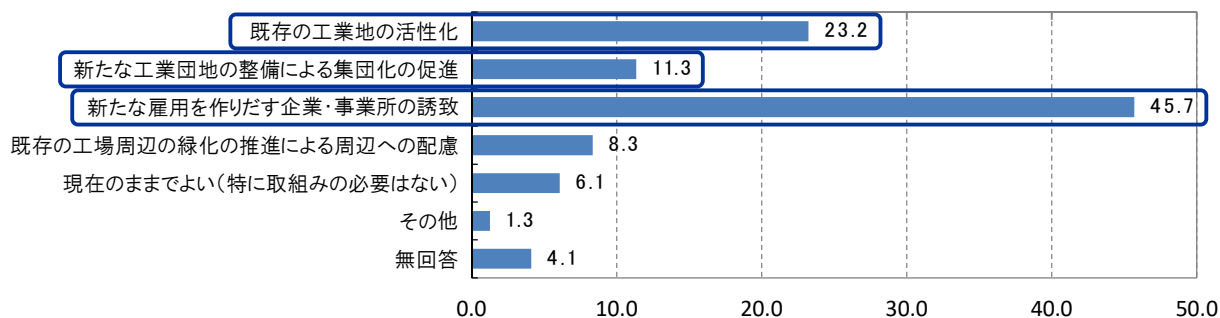
⑦工業地（工場等の立地状況）について今後どのような取組みに力をいれていく必要があるか

工業地については「新たな雇用を作りだす企業・事業所の誘致」が最も求められており、次いで「既存の工業地の活性化」、「新たな工業団地の整備による集団化の促進」と続いています。

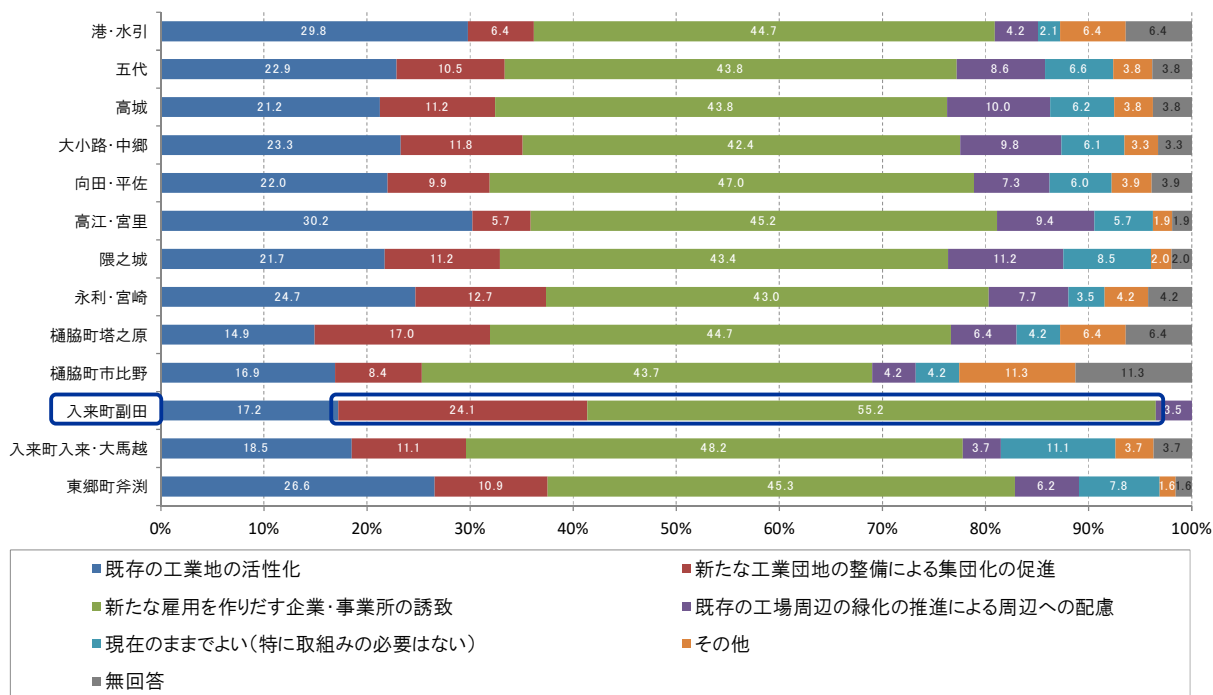
地域別に見ると、入来町副田では大規模工場の撤退により、「新たな雇用を作りだす企業・事業所の誘致」や「新たな工業団地の整備による集団化の促進」を求める割合が高くなっています。

問 15. 工業地の取組み（％）

MA=1,270



問 15 の居住地域別まとめ



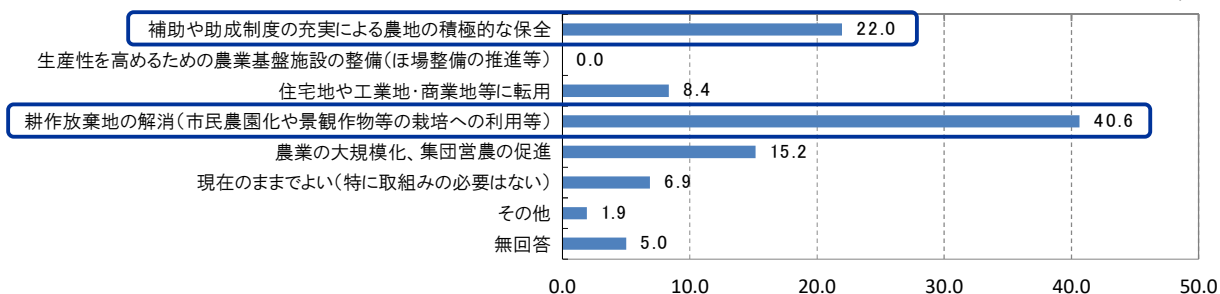
⑧農地について今後どのような取組みに力をいれていく必要があるか

農地については「耕作放棄地の解消（市民農園化や景観作物等の栽培への利用等）」に対する要望が高く、次いで「補助や助成制度の充実による農地の積極的な保全」と続いています。

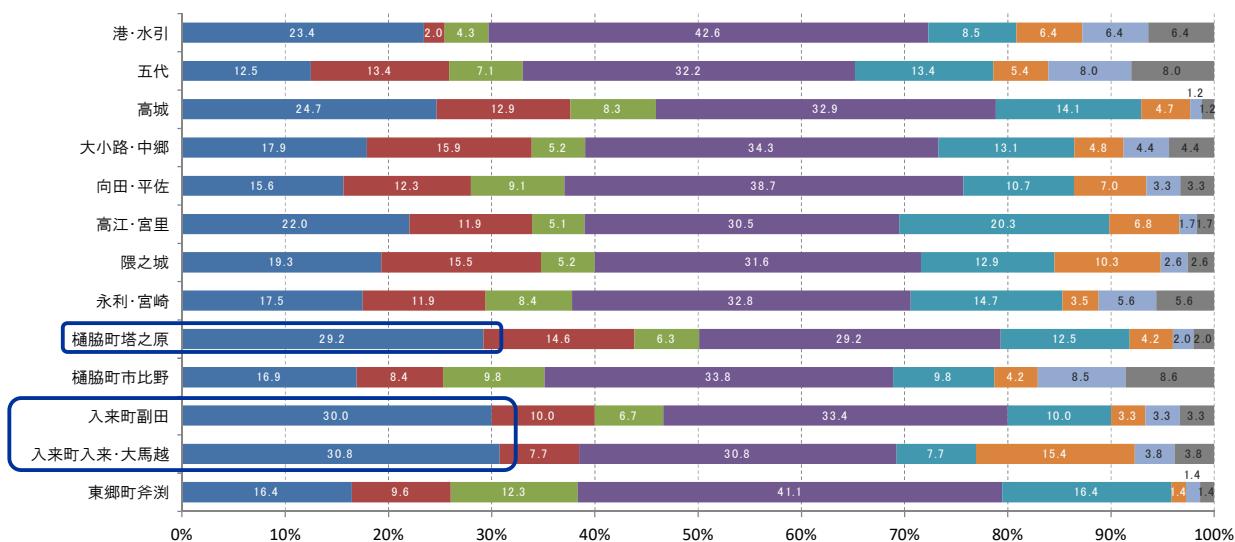
地域別に見ると、樋脇町塔之原や入来町では「補助や助成制度の充実による農地の積極的な保全」を求める割合が高くなっています。

問 16. 農地の取組み（％）

MA=1,147



問 16 の居住地域別まとめ



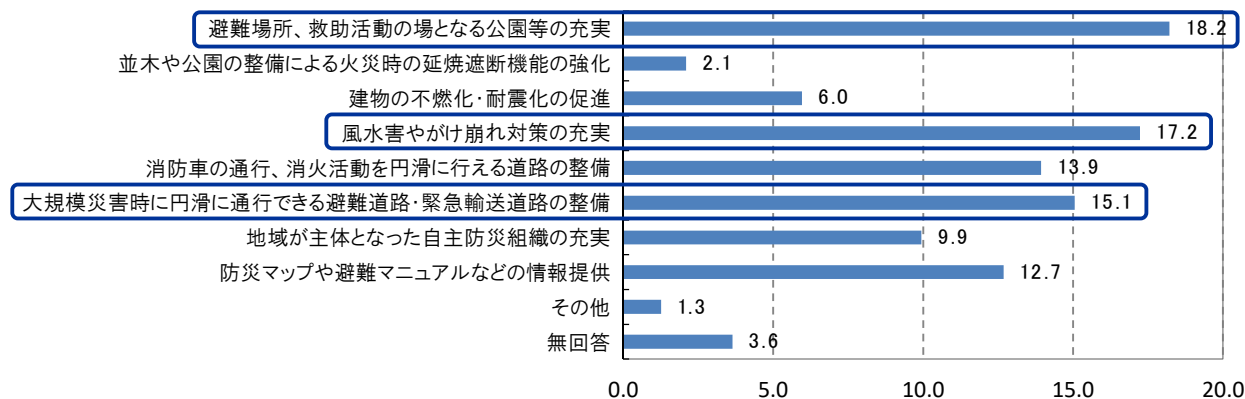
⑨防災について今後どのような取組みに力をいれていく必要があるか

防災については「避難場所、救助活動の場となる公園等の充実」、「風水害やがけ崩れ対策の充実」、「大規模災害時に円滑に通行できる避難道路※43・緊急輸送道路※44の整備」といった安全なハード面の整備が求められています。

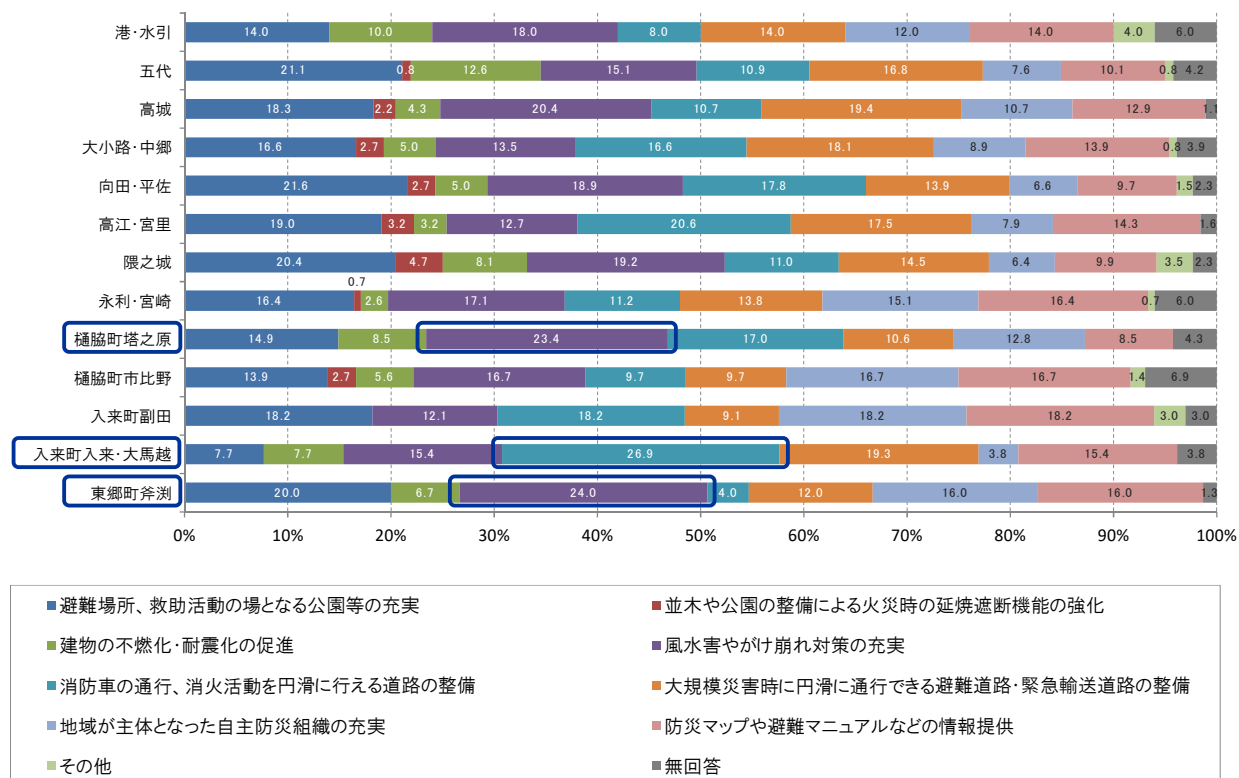
地域別に見ると、樋脇町塔之原や東郷町斧渕では「風水害やがけ崩れ対策の充実」、入来町入来・大馬越では「消防車の通行、消火活動を円滑に行える道路の整備」を求める割合が高くなっています。

問 17. 防災の取組み (%)

MA=1,428



問 17 の居住地域別まとめ



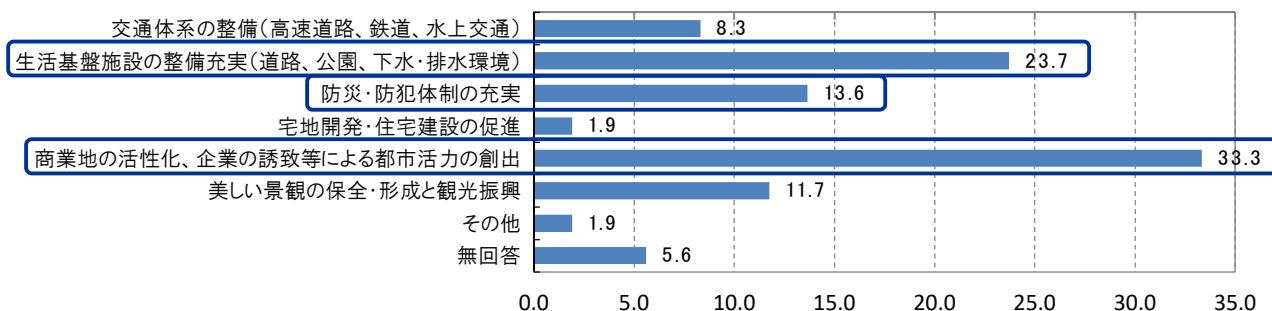
※43 (125 ページ)、※44 (116 ページ)

⑩市全体のまちづくりとして今後どのような取組みに力をいれていく必要があるか

市全体のまちづくりへの今後の取組みについては「商業地の活性化、企業の誘致等による都市活力の創出」に対する取組みへの要望が最も多く、次いで「生活基盤施設の整備充実（道路、公園、下水・排水環境）」、「防災・防犯体制の充実」と続いています。

問 18. 薩摩川内市全体の取組み（％）

MA=894



⑪今後もお住まいの地域に住み続けたいかについて

7割以上の回答者が「現在の地域に、住み続けたい」と回答しており、「他の都市に転居したい（薩摩川内市を離れたい）」希望は1割程度となっています。

問 19. 今後も住み続けたいか（％）

n=816

